150周年記念準備室通信

No.4

150 周年記念準備担当 矢島 和美

安中小学校が誕生する以前は?

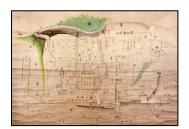
そして・・・どうやって誕生したの力

安小 HP にも通信カラー版を掲載

http://www.annaka.ed.jp/annaka

到 别是可 一种

『造士館』から『桃渓書院』へ



安中小学校は、元々は安中城があった場所、つまり城址に建てられています。 城があった当時の「安中古城之図」を見ると、その西側に**板倉勝尚**が命じて創立した**『造士館』**があっただろうことがわかります。

小学校でも「時間割表」があるように、当時も「造士館日割」があり、「槍術」「講釈」「剣術師」「柔術」などの時間が割り振られていたことがわかりま

す。



M克瑞 厚第5

また、文化5年3月に『造士館』設立当時、 - 「造士館告示」が出され、上段の間に掲げられた杉材の篇額に、書かれていた告示文書の写しもあり、『造士館』は「士ヲ造ル場」であ

り、「文武両道」を重んじていたこともわかります。

印章は「造士館文庫」の印章として、明治3年に安中藩の主事に預けられ、その後の安中小学校で保管されたようです。

板倉勝尚の後の安中藩主となった勝明は、藩士の鍛錬として実施した**徒競走、**それが現



在も行われている「安政遠足」として受け継がれてきている。領 民への学問の奨励として、領内五料村(安中市松井田町五料)に安中郷学校『桃渓書院』 を設立しました。また、『安中志』として、領内から自然・地勢・寺社・旧跡・伝説・人 物などを提出させ編纂させた。自身の書や絵図刊行書等も多数残されています。

『桃渓書院』から『文学校』へ

板倉勝殷は、版籍奉還後に藩知事となり、「板倉勝殷書状」により、安中藩士への所信を表明しました。

明治 3 年に「文学校告示学則」により、文武を刷新し藩校の再興を図り、造士館を文学校と演武場に分け、文学校告示学則を整えさせました。漢学を中心とした教育を目指したようです。



『文学校』から『安中小学校』へ

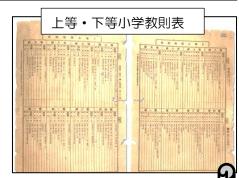


しかし、明治 4 年の廃藩により、文学校 は間もなく閉校となりました。

また、明治5年に勝殷が明治政府の命を 受け、安中城を去り東京へ向かう際に、文

学校の生徒達へ寄せて詠んだ 「**漢詩**」も残されています。

その翌年の明治6年に、「学・校設立許可書」により、「安中 小学校」が誕生しました。



が開校する。『安中小学校』

「学制」

けた。 明治三年 で、学校』を設 は、を分割し を分割し で、登校』を設

文化五年 中城内に『造士 中城内に『造士

安中小学校の

